

第4回 検討委員会資料

平成30年5月2日（水）

午後7時00分から

利根町役場5階A会議室

利根町小中学校適正配置等調査検討委員会

目 次

1. 統合各案のメリット・デメリット	1
2. 統合各案の概算事業費	2
(1) 大規模改造工事（屋内運動場）・バリアフリー整備工事	
(2) 大規模改造工事（校舎・屋内運動場）	
(3) 増築工事	
(4) 新築工事	
(5) 概算事業費算出単価	
3. 統合各案の整備スケジュール	7
4. 学校施設整備事業債償還金残額一覧	9
5. 利根町義務教育施設整備基金積立額	10
6. スクールバスの利用比較	11
参考資料	スクールバス検討資料

1. 統合各案のメリット・デメリット
 小学校の適正規模は12学級から18学級以下を標準とすることから平成35年度を目安とした場合の比較

	布川小学校に統合（15教室）	文小学校に統合（23教室）	文間小学校に統合（8教室）	新校舎に統合（小学校のみ）
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 校舎の大規模改造工事や増築工場の必要がない グラウンドが広い 借入償還金残額の一括返済が少ない 跡地利用がしやすい（文小） 	<ul style="list-style-type: none"> スロープ、多目的トイレのバリアフリー化がすすんでいる 	<ul style="list-style-type: none"> 屋内運動場の大規模改造工事が完了している 跡地利用がしやすい（文小） 	<ul style="list-style-type: none"> 新しい校舎で学習環境が最適な条件となる <p>※義務教育学校の検討及び新校舎建設地の検討も必要となる</p>
デメリット	<ul style="list-style-type: none"> 屋内運動場の大規模改造工事が必要 スクールバスの利用児童が多く、乗降場所がない スロープ、多目的トイレなどのバリアフリー化が必要 跡地の活用が難しい（文間小） 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎と屋内運動場の大規模改造工事が必要 スクールバスの利用児童が多く、乗降場所がない グラウンドが狭い 借入償還金残額の一括返済が多い 跡地の活用が難しい（布川・文間小） 	<ul style="list-style-type: none"> 教室不足により増築工事が必要 スクールバスの利用児童が多く、乗降場所がない グラウンドが狭く、増築工事等によりグラウンドの整備が必要 スロープ、多目的トイレなどのバリアフリー化が必要 借入償還金残額の一括返済が多い 跡地の活用が難しい（布川小） 	<ul style="list-style-type: none"> 膨大な工事費を要する 開校までの期間が長期となる スクールバスの利用児童が多い 小学校3校分の借入償還金残額を一括返済 跡地の活用が難しい（布川・文間小）
概算事業費	1億5千5百万円	3億7千4百万円	10億3百万円	20億6千5百万円
借入償還金	2億2千7百万円	3億9千6百万円	3億1千万円	4億6千7百万円

2. 各統合案の概算事業費

- (1) 【布川小学校の場合】大規模改造工事（屋内運動場）・バリアフリー整備工事・・・3
- (2) 【文小学校の場合】大規模改造工事（校舎・屋内運動場）・・・4
- (3) 【文間小学校の場合】増築工事・・・5
- (4) 【新校舎の場合】新築工事・・・6
- (5) 概算事業費算出単価・・・7

(1) 【布川小学校の場合】大規模改造工事 (屋内運動場)・バリアフリー整備工事

建 物	学級数に応ずる必要面積	根 拠
校 舎	$3881\text{m}^2 + 187\text{m}^2 \times (13 - 12) = 4068\text{m}^2$ $168 \times 4 = 672\text{m}^2$ $4068\text{m}^2 + 672\text{m}^2 = 4740\text{m}^2$ 必要面積 4740m^2 現保有面積 3754m^2 $3754\text{m}^2 < 4740\text{m}^2$ 面積は不足するが教室数は一部改修を施すことで解消する。ただし、必要面積については確認を要する	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令第7条第1項第2号 12学級から17学級まで $3881\text{m}^2 + 187\text{m}^2 \times (\text{学級数} - 12)$ 加算 $168\text{m}^2 \times \text{特別支援学級数}$
屋内運動場	必要面積 919m^2 現保有面積 951m^2 $951\text{m}^2 > 919\text{m}^2$ 必要面積を満たす	令第7条第3項 11学級から15学級まで
事業費	建物 屋内運動場 大規模改造 $951\text{m}^2 \times 110,000\text{円}/\text{m}^2 = 104,610,000\text{円}$ 校舎 エレベーター, 多目的トイレ スロープ $4,860,000\text{円}$	$104,610,000\text{円}$ $45,670,000\text{円}$ $4,860,000\text{円}$ <u>合計 $155,140,000\text{円}$</u>

(2) 【文小学校の場合】大規模改造工事 (校舎・屋内運動場)

建 物	学級数に応ずる必要面積	根 拠
校 舎	$3881\text{m}^2 + 187\text{m}^2 \times (13 - 12) = 4068\text{m}^2$ $168 \times 4 = 672\text{m}^2$ $4068\text{m}^2 + 672\text{m}^2 = 4740\text{m}^2$ 必要面積 4740m^2 現保有面積 4475m^2 $4475\text{m}^2 < 4740\text{m}^2$ 面積は不足するが教室数は満たしている。 ただし、必要面積については確認を要する	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行 令第7条第1項第2号 12学級から17学級まで $3881\text{m}^2 + 187\text{m}^2 \times (\text{学級数} - 12)$ 加算 $168\text{m}^2 \times \text{特別支援学級数}$
屋内運動場	必要面積 919m^2 現保有面積 963m^2 $963\text{m}^2 > 919\text{m}^2$ 必要面積を満たす	令第7条第3項 11学級から15学級まで
事業費	建物 北側校舎 大規模改造 $1176\text{m}^2 \times 125,000\text{円}/\text{m}^2 = 147,000,000\text{円}$ 南側校舎 屋根, 外壁改修 $2910\text{m}^2 \times 26,000\text{円}/\text{m}^2 = 75,660,000\text{円}$ 屋内運動場 大規模改造 $963\text{m}^2 \times 110,000\text{円}/\text{m}^2 = 105,930,000\text{円}$ エレベーター $45,670,000\text{円}$	
合計	<u><u>374,260,000円</u></u>	

(3) 【文間小学校の場合】増築工事

建物	学級数に応ずる必要面積	根拠
校舎	$3881\text{m}^2 + 187\text{m}^2 \times (13 - 12) = 4068\text{m}^2$ $168 \times 4 = 672\text{m}^2$ $4068\text{m}^2 + 672\text{m}^2 = 4740\text{m}^2$ $4740\text{m}^2 \times 1.108 = 5251\text{m}^2$ 必要面積 5251m^2 現保有面積 2641m^2 整備面積 $5251\text{m}^2 - 2641\text{m}^2 = \underline{2610\text{m}^2}$	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令第7条第1項第2号 12学級から17学級まで $3881\text{m}^2 + 187\text{m}^2 \times (\text{学級数} - 12)$ 加算 $168\text{m}^2 \times \text{特別支援学級数}$ 多目的教室を設ける場合（現校舎に保有のため） 当該面積に1.108を乗じる
事業費	建物 校舎 増築 $2610\text{m}^2 \times 365,000\text{円} / \text{m}^2 = 952,650,000\text{円}$ エレベーター, 多目的トイレ スロープ $45,670,000\text{円}$ $4,860,000\text{円}$ 合計 <u>$1,003,180,000\text{円}$</u>	
その他に外壁改修工事費, グラウンド整備工事費が加算される		

(4) 【新校舎の場合】新築工事

建物	学級数に応ずる必要面積	根拠
校舎	$3881\text{m}^2 + 187\text{m}^2 \times (13 - 12) = 4068\text{m}^2$ $168 \times 4 = 672\text{m}^2$ $4068\text{m}^2 + 672\text{m}^2 = 4740\text{m}^2$ 合計 <u>4740m²</u>	義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令第7条第1項第2号 12学級から17学級まで $3881\text{m}^2 + 187\text{m}^2 \times (\text{学級数} - 12)$ 加算 $168\text{m}^2 \times \text{特別支援学級数}$
屋内運動場	919m ²	令第7条第3項 11学級から15学級まで
計	5659m ²	
事業費	建物 校舎 新築 $5659\text{m}^2 \times 365,000\text{円} / \text{m}^2 = 2,065,535,000\text{円}$ その他に用地取得費、造成工事費が加算される	

(5) 概算事業費算出単価

工 種	単 価	単価根拠
<p>新築工事 増築工事</p>	<p>365,000円/㎡ ※参考1の単価を採用</p>	<p>参考1 河内町立「かわち学園」建築事業費 規模 校舎5158㎡ 体育館1145㎡ 合計面積6303㎡ 事業費 約23億円 1㎡あたり単価365,000円 参考2 文間小学校校舎増築工事(平成11年度) 規模 926㎡ 事業費352,000,000円 1㎡あたり単価380,000円</p>
<p>大規模改造工事 (校舎)</p>	<p>125,000円/㎡</p>	<p>参考 布川小学校大規模改造工事(平成27,28年度) 規模 3705㎡ 事業費 空調設備工事 52,164,000円 大規模改造工事(外部) 95,796,000円 大規模改造工事(内部) 316,264,000円 合 計 464,224,000円</p>
<p>大規模改造工事 (屋内運動場)</p>	<p>110,000円/㎡</p>	<p>参考 文間小学校屋内運動場大規模改造工事(平成29年度) 規模 758㎡ 事業費 83,259,000円</p>
<p>屋根, 外壁改修工事</p>	<p>26,000円/㎡</p>	<p>参考 布川小学校大規模改造工事(外部)(平成27年度) 規模 3705㎡ 事業費 95,796,000円</p>
<p>エレベーター設置工事</p>	<p>—</p>	<p>参考 文小学校スロープ工事(平成29年度) 4,860,000円 エレベーター設置工事(平成28年度 龍ヶ崎市立城西中学校) 45,670,000円</p>

3. 統合各案の整備スケジュール

統合案	工 事	H30	H31	H32	H33	H34	H35
台布川小学校統合の場 合	校舎エレベーター・多目的トイレ整備			設計	国庫補助金申請 学校設置条例制定	工事	開校
	大規模改造工事（屋内運動場）						
	校舎ランチルーム改修工事						
文小学校統合の場 合	大規模改造工事 （北側校舎・屋内運動場）			設計	国庫補助金申請 学校設置条例制定	工事	開校
	外壁・屋根改修工事 （南側校舎）						
	増築工事（北側校舎）			設計	国庫補助金申請 学校設置条例制定	工事	開校
文間小学校統合 の場合	グラウンド整備工事						
	建築工事	設計	用地取得	造成工事	建築工事		開校

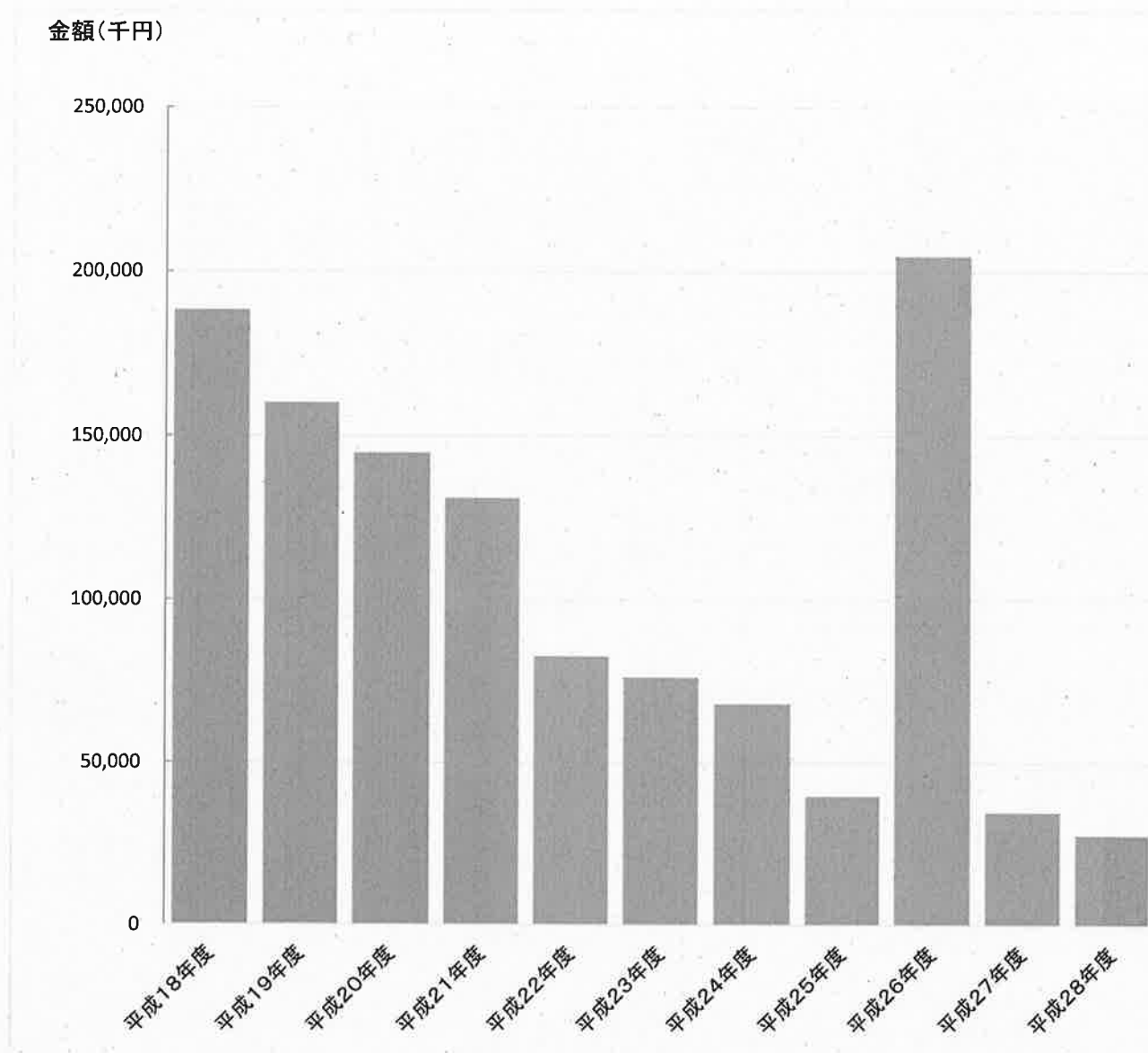
※平成35年4月に開校するためには平成33年3月までには学校設置条例の制定が必要となる

4.【前回資料】学校施設整備事業費借入償還金残額一覧（平成29年度末現在）

（単位：円）

事業名	償還期間	布川小学校	文小学校	文間小学校
H11年度 校舎増築・給食室改築	H37年 3月 1日まで	—	—	54,940,904
H14年度 校舎大規模改造・耐震補強 （南側校舎）	H29年10月25日まで	—	0	—
H21年度 屋内運動場耐震補強	H47年 3月25日まで	—	4,523,629	12,359,200
H23年度 校舎耐震補強（北側校舎）	H49年 3月 1日まで	—	20,141,096	—
H27年度 空調設備	H48年 3月25日まで	39,100,000	21,400,000	24,400,000
H27年度 屋内運動場天井落下防止	H53年 3月25日まで	22,600,000	22,600,000	—
H27年度 屋内運動場天井落下防止	H53年 3月25日まで	4,500,000	2,900,000	—
H27年度 校舎大規模改造	H53年 3月 1日まで	30,300,000	—	—
H28年度 校舎大規模改造	H54年 3月 1日まで	143,500,000	—	—
H29年度 屋内運動場大規模改造	H55年 3月 1日まで	—	—	64,600,000
合計	—	240,000,000	71,564,725	156,300,104

5. 利根町義務教育施設整備基金積立額



利根町義務教育施設整備基金積立額一覽

単位:円

	増額	減額	積立額
平成18年度			188,247,000
平成19年度	1,540,000	29,736,000	160,051,000
平成20年度	150,000	15,291,000	144,910,000
平成21年度	87,000	13,938,000	131,059,000
平成22年度	47,000	48,410,000	82,696,000
平成23年度	12,614,000	18,981,000	76,329,000
平成24年度	13,000	8,203,000	68,139,000
平成25年度	11,000	28,505,000	39,645,000
平成26年度	193,930,000	28,759,000	204,816,000
平成27年度		170,000,000	34,816,000
平成28年度		7,000,000	27,816,000

6. スクールバスの利用比較

	布川小学校に統合の場合		文小学校に統合の場合		文間小学校に統合の場合	
	利用区域	フレッシュタウンの一部と押付本田の布川小学校通学区	25人	フレッシュタウンを除く布川小学校通学区	146人	文小学校通学区
	文小学校通学区	72人			福木, 中谷, 立崎, 惣新田, 加納新田, 東奥山新田, 布川の一部の文間小学校通学区	23人
	文間小学校通学区	164人	文間小学校通学区	164人	布川小学校通学区	171人
利用児童数	261人		310人		266人	
運行台数	6台		7台		6台	

※スクールバス利用条件

- ・学校からの距離は半径1.5キロメートル以上を想定
- ・大型バス45人乗りを想定

平成29年度 スクールバス運行業務実績

利用児童数	布川小学校通学区	12人
	文間小学校通学区	40人
運行台数	小型バス2台(うち小型マイクロバス1台)	
委託費	11,682,765円	

※ 学校からの距離はおおよそ半径1.5キロメートル以上で運行